

教育センターだより

子どもの学びをとめない＝職員も学び続ける

令和3年11月10日発行

北九州市立教育センター

TEL 641-1775

FAX 641-1833

【ホームページ】

<http://www.kita9.ed.jp/educctr/>

【Eメール】

admin@educctr.kita9.ed.jp

みなさんの学びを応援します！

「教C寺子屋一休さん」10月活動報告

道徳サークル「プロジェクトD」



道徳科の授業でICTを活用した実践例が紹介されました。参加者は、実際にGIGA端末を操作しながら研修を受け、すぐに実践につながる内容を学んでいました。

【受講者の感想】

実際の授業の流れを基に、FormsやOneNoteの活用方法を知ることができ、大変参考になりました。今回の研修は「道徳科」でしたが、他の教科等でも活用していきたいです。また、目的ではなく手段としてICTが使えるように気を付けたいと思いました。

授業力に優れた先生方の授業実践と学習評価の方法を紹介しました。単元のまとまりを意識した授業計画と「指導と評価の一体化」の大切さについて、あらためて学ぶことができました。

【受講者の感想】

評価と授業のねらい、ポイントを絞った授業づくり、客観的な評価のためにどのように取り組んでいくべきかなど、先生方と意見交流ができました。2学期の評価をしていく上で参考にしたいです。

北九州市中学校社会科教育研究会



子どもへの理解と支援サークル ～コグトレの具体的な活用～



今回は、初めてリモートと集合のハイブリット型で実施しています。学習面「最初とポン」、身体面「姿勢模倣」「姿勢伝言」を実際に体験しました。実技を通して、指導する際のポイントなどについて考えました。

【受講者の感想】

頭も体も使って、子どもの立場で楽しむことができました。遊びと学びをつなげるための教師の関わりやコーディネートが大切であると感じました。

コグトレの幅広い可能性を感じました。まだまだ知らない様々な活動があり、どれも子どもが興味をもって取り組んでいけるものだと思います。

ICTサークルGT

～ギガスクールティーチャーズ～

株式会社ゼンリンとコラボして講座を行いました。プログラミング教材「まなっぷ」を実際に操作しながら、プログラミング教育について学びました。校種を越えた交流もしています。



【受講者の感想】

「まなっぷ」を初めて使いました。「これはいい！」「学校でも使えそうだ！」というのが、率直な感想です。実際に体験できただけでなく、指導事例も紹介していただいたため、どのような単元・場面で活用できるのかイメージすることができました。

その他、10月に活動したサークル

- 笑顔の体育にまずIPPOの会
- 特別支援学級担任のための学習会
- TOKKATSU大庭塾
- 特別支援教育授業研究会



11月もたくさんの活動が予定されています。

集合型とリモート配信を同時に行っている
サークルも多数あるので気軽に参加してください！

教育センターだより

子どもの学びをとめない＝職員も学び続ける

令和3年12月21日発行

北九州市立教育センター

TEL 641-1775

FAX 641-1833

【ホームページ】

<http://www.kita9.ed.jp/educctr/>

【Eメール】

admin@educctr.kita9.ed.jp

みなさんの学びを応援します！

「教C寺子屋一休さん」11月活動報告

北九州市中学校音楽教育研究会



今回は、集合型で顔を合わせて語り合いました。文化発表会を終えたこの時期に、定期考査や実技テストのポイントについての情報交換を行いました。

【受講者の感想】

実技テストの実施方法や「主体的に学習に取り組む態度」の観点における評価方法について提案していただきました。実技テストを行う前に、生徒自身の課題やめあてを記述させておくと、生徒の変容を見取ることができると分かりました。実践してみようと思います。

幼児教育サークル



クリスマスの楽しい雰囲気を子どもたちが味わうことができるように、身近な素材を使ったスノードーム作りを行いました。また、絵本『てぶくろ』の英語の読み聞かせの体験をしました。

【受講者の感想】

スノードームは、子どもたちも手軽に作ることができて、気持ちが落ち着く効果もあるなと思いました。絵本『てぶくろ』の英語の読み聞かせは、繰り返しのことろなどがあり、子どもたちが楽しく英語に触れる手だてになると感じました。

TOKKATSU 大庭塾



いろいろな質問に対して、大庭先生に答えていただきました。子ども理解の大切さや、個性を出しながらも組織的に動くことなどについて、エピソードを交えながら話していただきました。

【受講者の感想】

大庭先生のお話を聞いて、学級経営において確かな柱をもって、日々子どもたちと関わっていきたくと改めて感じることができました。子どもたちが社会に出たときに大切になる「生きる力」の一つとして「自分たちで動く力」を身に付けるために、特別活動を活性化させたいです。

特別支援学級担任のための学習会

特別支援学級における、子どもの実態把握の方法や保護者への正しい情報提供と指導の成果の伝え方について好事例を共有しました。



【受講者の感想】

それぞれの学校の取組を聞けて勉強になりました。学校全体で取り組む支援体制について、校内支援会議で使われた用紙を基に説明していただき、今後活用していきたいと思いました。また、ケース会議などで、コーディネーターとしてどのように関わるべきかを学ぶことができました。

その他、11月に活動したサークル

- 北九州市中学校美術教育研究会
- 道徳サークル「プロジェクトD」
- 北九州市中学校社会科教育研究会
- 笑顔の体育にまずIPPON!の会
- 特別支援教育授業研究会
- ICTサークルGT
- 子どもへの理解と支援サークル



1月もたくさんの活動が予定されています。

集合型とリモート配信を同時に行っている
サークルも多数あるので、気軽に参加してください！